

## 智頭急行株式会社第38回定時株主総会の開催結果について

智頭急行株式会社第38回定時株主総会は、2024年6月3日にホテルニューオータニ鳥取(鳥取県鳥取市今町2丁目153)において開催いたしました。

なお、本総会は、法令に基づく所定の期間をもって招集し、かつ、定足数を満たしてまいりましたので、適法に成立いたしました。

その主な内容を次のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 第38回定時株主総会

- ・第38期事業報告について  
事業報告書の内容を報告しました。
- ・第38期貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びに剰余金処分案の承認について  
原案どおり承認されました。
- ・監査役の任期満了に伴う監査役の選任について  
下記の2名が選任されました。

#### 【監査役】

	氏名	備考
再任	広田 一恭	(倉吉市長)
再任	三宅 智章	(姫路信用金庫専務理事)

お 問 い 合 せ
総 務 部 総 務 課
電 話 0858-75-6600

(参考)

## 第38期(2023年度)の決算状況等について

### 1 決算の状況

#### (1) 営業収益 2,470,842,733円

営業収益は、2,471百万円(前期比112.1%、第34期比89.4%)と新型コロナウイルス感染症の影響を受けた期間が限定的だった第34期より292百万円の大幅な減となりました。

#### ア. 旅客運輸収入 1,156,428,066円

旅客運輸収入は、1,156百万円(前期比127.0%、第34期比89.9%)と新型コロナの影響等により輸送人員が減少し、第34期より130百万円の減となりました。

#### イ. 運輸雑収 1,314,414,667円

運輸雑収は、1,314百万円(前期比101.6%、第34期比89.0%)とスーパーはくと6号及び9号が平日等に1往復運休となったこと等により受取車両使用料が減少し、第34期より162百万円の減となりました。

#### (2) 営業費用 2,389,077,331円

営業費用は、2,389百万円(前期比102.0%、第34期比93.8%)と第34期と比較して、軽油単価の高騰に伴う動力費の増加等があったものの、新規投資を抑制したことに伴う減価償却費の減少、土木構造物の修繕の減少等により158百万円の減となりました。

#### (3) 営業損益 81,765,402円、経常損益 84,604,560円

営業損益は、82百万円と第34期より134百万円の減益となり、経常損益は、85百万円と第34期より134百万円の減益となり、大幅な減収減益となりました。

前期の経常損益と比較すると増収増益となり、第38期の経常損益は、第34期(2019年度)以来4期ぶりの黒字となりました。

なお、国及び自治体からの補助金等を計上する特別損益を加味した税引前当期純損益は192百万円となりました。

(単位：円、%)

区 分		第38期(2023年度)	(前期比) (第34期比)	第37期(2022年度) 差額	第34期(2019年度) 差額
収入	営業収益	2,470,842,733	(112.1) (89.4)	266,573,532	△292,178,532
	旅客運輸 収入	1,156,428,066	(127.0) (89.9)	245,605,652	△129,868,630
	運輸雑収	1,314,414,667	(101.6) (89.0)	20,967,880	△162,309,902
費用	営業費用	2,389,077,331	(102.0) (93.8)	46,475,907	△157,806,116
	人件費	514,174,316	(101.6) (105.1)	7,924,963	25,023,418
	修繕費	789,020,217	(100.2) (87.1)	1,674,492	△117,056,956
	動力費	331,218,064	(94.8) (117.1)	△18,169,194	48,339,553
	経 費	423,652,662	(117.4) (112.8)	62,758,292	48,163,328
	諸 税	55,696,687	(99.0) (76.9)	△566,320	△16,698,882
	減価償却費	275,315,385	(97.5) (65.4)	△7,146,326	△145,576,577
営業損益		81,765,402	(-) (37.8)	220,097,625	△134,372,416
営業外収益		6,710,890	(14.5) (46.2)	△39,616,571	△7,823,119
営業外費用		3,871,732	(140.4) (32.2)	1,114,134	△8,154,396
経常損益		84,604,560	(-) (38.7)	179,366,920	△134,041,139
特別利益		172,238,473	(131.6) (929.9)	41,339,375	153,715,659
特別損失		64,667,008	(148.7) (272.6)	21,175,970	40,943,054
税引前当期純損益		192,176,025	(-) (90.0)	199,530,325	△21,268,534
法人税等		29,156,700	(2566.6) (944.5)	28,020,700	△39,377,700
当期純損益		163,019,325	(-) (110.2)	171,509,625	15,099,166
営業係数		96.7			
設備投資		211,988,021			

## 2 2023年度智頭線の輸送人員について

### (1) 特急列車 728,020 人

特急列車の輸送人員は、728,020 人(前期比 128.6%、第 34 期比 85.8%)と前期を 162,125 人上回りました。コロナ禍においても緩やかな回復傾向が続いていましたが、下期に入りお客様のご利用が顕著な回復傾向となり、当初見込みの 597,747 人と比較すると 130,273 人上回るご利用結果となりました。これは、インバウンドを含む国内移動の回復等が主な要因と考えます。

列車別には、スーパーはくと号は 532,573 人(前期比 129.5%、第 34 期比 88.9%)、スーパーいなば号は 195,447 人(前期比 126.4%、第 34 期比 78.3%)となり、観光目的のお客様のウエイトが大きいスーパーはくと号のご利用の回復傾向がより大きくなりました。

### (2) 普通列車 194,050 人

普通列車の輸送人員は、194,050 人(前期比 97.7%、第 34 期比 70.8%)と前期を 4,665 人下回りました。2021 年度以降通学利用の減少により、20 万人を下回るご利用となっています。

### 《輸送人員》

(単位：人、%)

区 分		第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 38 期累計
スーパー はくと	人 員	117,314	133,767	142,005	139,487	532,573
	乗車率	38.9	43.9	44.5	43.7	42.9
	前期比	148.8	147.0	119.1	114.3	129.5
	第 34 期比	79.0	81.1	89.4	110.9	88.9
スーパー いなば	人 員	44,292	50,239	52,840	48,076	195,447
	乗車率	35.1	39.6	40.9	38.6	38.6
	前期比	136.8	143.8	119.7	111.4	126.4
	第 34 期比	69.2	79.1	79.3	95.4	78.3
特急列車 合 計	人 員	161,606	184,006	194,845	187,563	728,020
	乗車率	37.8	42.7	43.5	42.3	42.7
	前期比	145.3	146.1	119.3	113.4	128.6
	第 34 期比	76.1	78.7	86.4	106.0	85.8
普通列車	人 員	52,620	51,391	49,143	40,896	194,050
	前期比	92.6	100.7	96.9	101.8	97.7
	第 34 期比	70.2	69.3	66.6	79.9	70.8

(千人)

輸送人員の推移

